



2015年1月13日

各位

会社名 株式会社ユーシン  
 代表者名 代表取締役会長兼社長 田邊 耕二  
 (コード番号:6985 東証第一部)  
 問合せ先 経理財務本部長 田尾 和也  
 TEL:03(5401)4660

## 営業外費用、特別損失の計上及び連結業績予想値と決算値との差異並びに 個別業績の前期決算値との差異に関するお知らせ

2014年7月15日に公表しました2014年11月期(2013年12月1日～2014年11月30日)の業績予想と、本日公表の実績に差異に関しまして、営業外費用及び特別損失の計上を含め、下記の通りお知らせいたします。また、個別業績の差異について、営業外費用の計上を含め、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2014年11月期通期連結業績予想数値と決算値との差異(2013年12月1日～2014年11月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	150,000	3,400	1,500	400	円 銭 13 66
実績値(B)	155,985	3,075	1,057	△433	△15 18
増減額(B)-(A)	5,985	△324	△442	△833	—
増減率(%)	4.0	△9.6	△29.5	—	—
(ご参考)前期実績 (2013年11月期)	108,473	1,791	1,536	400	13 29

#### 2. 2014年11月期通期個別業績の前期決算値との差異(2013年12月1日～2014年11月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	53,779	2,266	2,840	4,004	円 銭 132 82
実績値(B)	58,903	1,462	1,549	1,254	43 95
増減額(B)-(A)	5,124	△804	△1,291	△2,750	—
増減率(%)	9.5	△35.5	△45.5	△68.7	—

#### 3. 差異の理由

##### (1) 連結

売上高は、自動車部門において国内や中国等での生産・出荷が好調で、産業機械部門も堅調に推移したことから予想を上回りました。営業利益は、タイの社会経済情勢の混乱やブラジルの景気低迷の長期化の影響を受けたこと等により予想を下回りました。経常利益は、営業利益の減益に加えて急激な円安の進行に伴う新興国通貨に関する為替差損の発生や通貨スワップ費用 1,323 百万円といった営業外費用の発生もあり、予想を下回りました。

当期純利益については、当社が納入した自動車部品に関して顧客が不具合対応を行う可能性があることから、製品補償引当金 499 百万円を繰り入れ特別損失に計上したため、予想を下回り純損失を計上しました。

(2) 個別

売上高は自動車部門、産業機械部門とも堅調に推移し、前期実績を上回りました。営業利益は、急激な円安の進行に伴い海外からの輸入部材や輸入製品のコストが上昇したこと等により前期を下回りました。経常利益は、事業統合関連費用は減少しましたが、支払利息、通貨スワップ費用 1,323 百万円や為替差益の減少があり、前期を下回りました。

当期純利益は、広島新工場に対する公的助成金収入、広島旧工場の不動産売却益、受取保険金等を特別利益に計上する一方で、Valeo 社からのインド法人の株式取得中止に関する解決金、海外販売代理契約の解約金、製品補償引当金繰入額を特別損失に計上したこと等により、前期実績を下回っております。

以 上